



比発・総企・企振
平成19年4月27日

国土交通省道路局長 様

比布町長 伊藤 喜代志



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありましたこのことにつきまして、別紙のとおり回答しますので、よろしくお取り計らい願います。

記

中期的な計画の作成に当たっての意見

(比布町役場総務企画課企画振興係)

中期的な計画の作成にあたっての意見

意見者：北海道 比布町長 伊藤 喜代志

・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

本町は国道39号と40号が縦横断し、交通の要衝として位置し地域住民の生活向上や各圏域を結ぶ主要なアクセス地点となっています。

また、北海道縦貫自動車道を接続する比布JCTを通じた旭川紋別自動車道の整備が現在も進められていますが、広域・分散型という地理的特性を持つ北海道及び道北地域にとって、高速道路網の早期構築は均衡ある経済の発展と地域活力の向上のためには急務の課題であります。

なおかつ、安全性の向上、豊かな自然環境を生かした観光の振興、高次元医療施設への輸送ルートの確保など、安心して暮らせる地域生活の向上にも整備は必要不可欠です。

そのように、高規格道路をはじめとする幹線道路網の整備形成は、自治体にとっての大変必要な社会資本基盤であります。

今後も道路特定財源の見直しに影響されることなく、特定財源の確保を図り計画的に道路整備が進められることを強く望みます。

・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

北海道は豊かな自然環境を生かした観光振興や、食料基地として活力ある農水産業を発展させるため、地域の経済と生活を支えるサービスや資源を広域的に効率よく共有できる交通網がこれまで以上に必要です。

道路投資を行っていくうえでは重点的かつ予算上効率的な効果発現が求められますが、北海道が担う重要な役割や取り巻く情勢踏まえ、優先順位を考慮した道路施策の展開を望みます。

・道路政策や道路の整備管理全般に関する意見

積雪寒冷の本町にとって、一般国道・地方道路の改良整備・補修、冬期間の除排雪対策は、地域間交流や物流の効率化や安全性を保持するうえで大変重要な問題です。

特に冬期の安全確保においてはきめ細やかな対応など、今後も道路交通の機能強化と一層の整備促進を願うところです。